

吉田町・牧之原市
循環型社会形成推進地域計画

吉田町

牧之原市

吉田町牧之原市広域施設組合

平成 26 年 3 月 31 日

目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項.....	1
	(1) 対象地域.....	1
	(2) 計画期間.....	2
	(3) 基本的な方向.....	2
2	循環型社会形成推進のための現状と目標.....	3
	(1) 一般廃棄物等の処理の現状.....	3
	(2) 生活排水の処理の現状.....	6
	(3) 一般廃棄物等の処理の目標.....	9
	(4) 生活排水処理の目標.....	13
3	施策の内容.....	17
	(1) 排出抑制、資源化の推進.....	17
	(2) 処理体制.....	18
	(3) 処理施設等の整備.....	22
	(4) その他の施策.....	23
4	計画のフォローアップと事後評価.....	23
	(1) 計画のフォローアップ.....	23
	(2) 事後評価及び計画の見直し.....	23

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

吉田町及び牧之原市は、南は駿河湾に面し、東には大井川が流れ、北は島田市、西は菊川市に接している。市南部の静波海岸は年間100万人を超える全国有数の海水浴場である。

なお、牧之原市と島田市との境には富士山静岡空港が、平成21年6月4日に開港している。平成24年度における処理人口は、吉田町が29,576人、牧之原市が49,364人で、合わせて78,940人となっている。

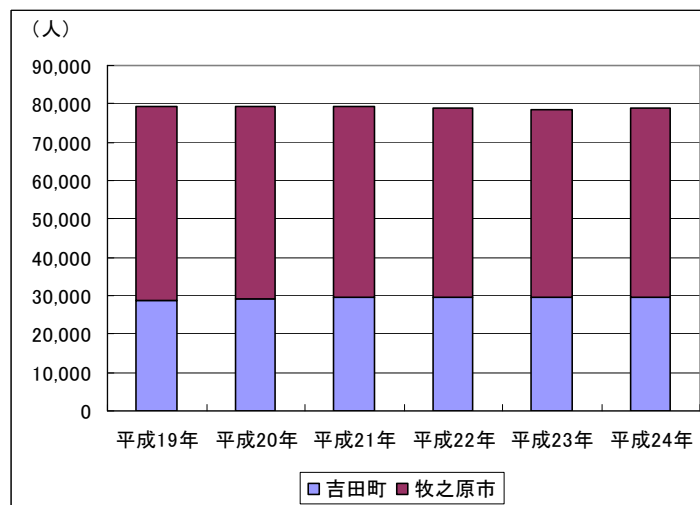
図表1 吉田町・牧之原市の面積

	面積	東西	南北
吉田町	20.84km ²	6.5km	6.9km
牧之原市	111.68km ²	10.9km	20.3km
計	132.52km ²		

図表2 人口の推移

年	吉田町	牧之原市	合計
平成19年	28,896	50,318	79,214
平成20年	29,153	50,133	79,286
平成21年	29,462	49,723	79,185
平成22年	29,498	49,313	78,811
平成23年	29,558	48,810	78,368
平成24年	29,576	49,364	78,940

(各年10月1日)



図表3 人口の推移



図表4 対象地域図

(2) 計画期間

本計画は平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間の計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢、廃棄物・リサイクルに関する法律・諸制度が大きく変化した場合などにおいては、必要に応じて計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

現在、吉田町、牧之原市榛原地区から排出される一般廃棄物は、一部事務組合である吉田町牧之原市広域施設組合で、牧之原市相良地区から排出される一般廃棄物は御前崎市との一部事務組合である牧之原市御前崎市広域施設組合にて、それぞれ中間処理を行っている。

吉田町、牧之原市榛原地区では、事業系一般廃棄物の搬入量が、全可燃物量の約43%を占めており、分別回収の啓発等を行うことにより、発生抑制及び再生利用の推進を図る。

家庭系廃棄物については、吉田町、牧之原市榛原地区において、収集体制等の見直し等を図ることで、再生利用の推進を図る。

生活排水処理については、公共下水道の整備・普及を踏まえながら、普及地域においては早期接続の促進に努め、未整備地区においては効率的な合併処理浄化槽の普及促進に努める。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

※ 本項における数値については四捨五入の関係により 100%にならないことがある。

※ 総資源化率(%)=総資源化量(直接資源化+処分後再生量+集団回収量) / (排出量+集団回収量) × 100

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

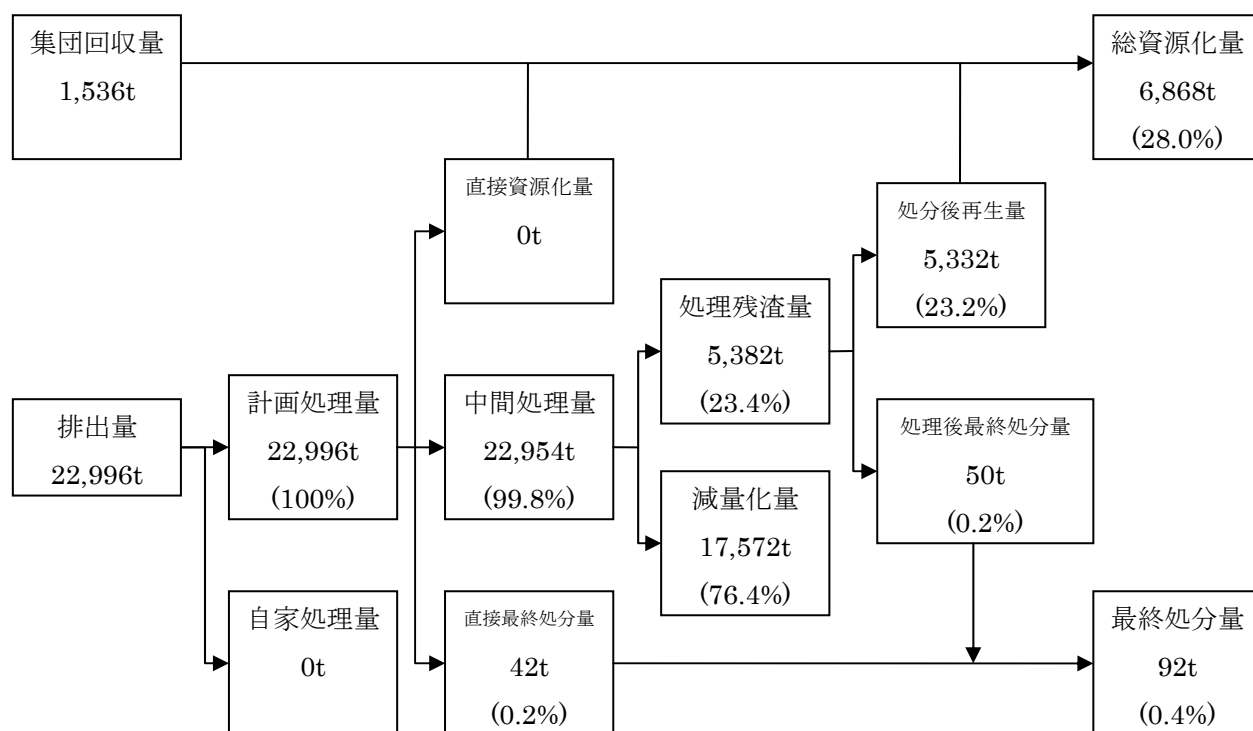
1) 地域全体

平成 24 年度の一般廃棄物の排出処理状況は以下のとおりである。

総排出量は、集団回収も含め 24,532t であり、再利用される総資源化量は 6,868t、リサイクル率は 28.0%である。

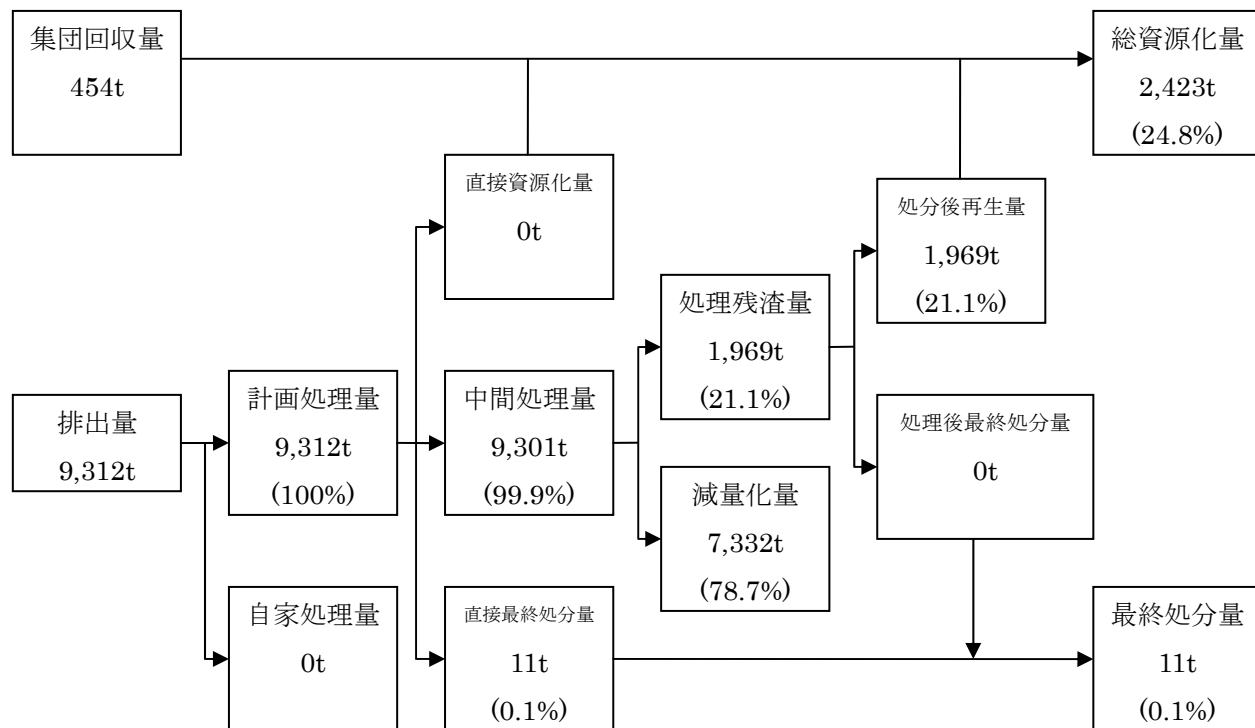
中間処理による減量化量は 17,572 t であり、集団回収量を除いた排出量の 76.4%が減量化されている。また、集団回収量を除いた排出量の 0.4%にあたる 92 t が埋め立てられている。

焼却施設における熱利用は場内給湯に使用している。



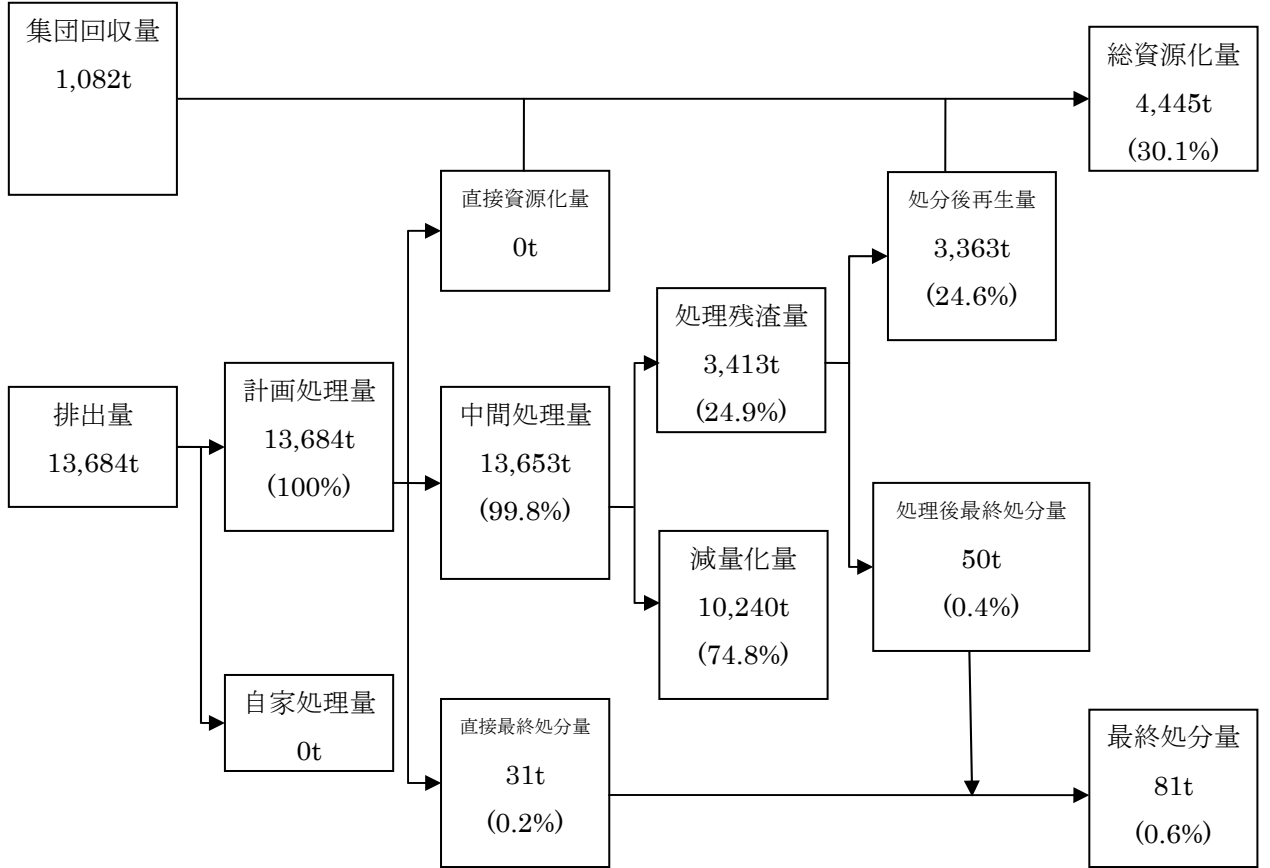
図表 5 地域全体の一般廃棄物の処理フロー（平成 24 年度）

2) 吉田町



図表6 吉田町の一般廃棄物の処理フロー（平成24年度）

3) 牧之原市



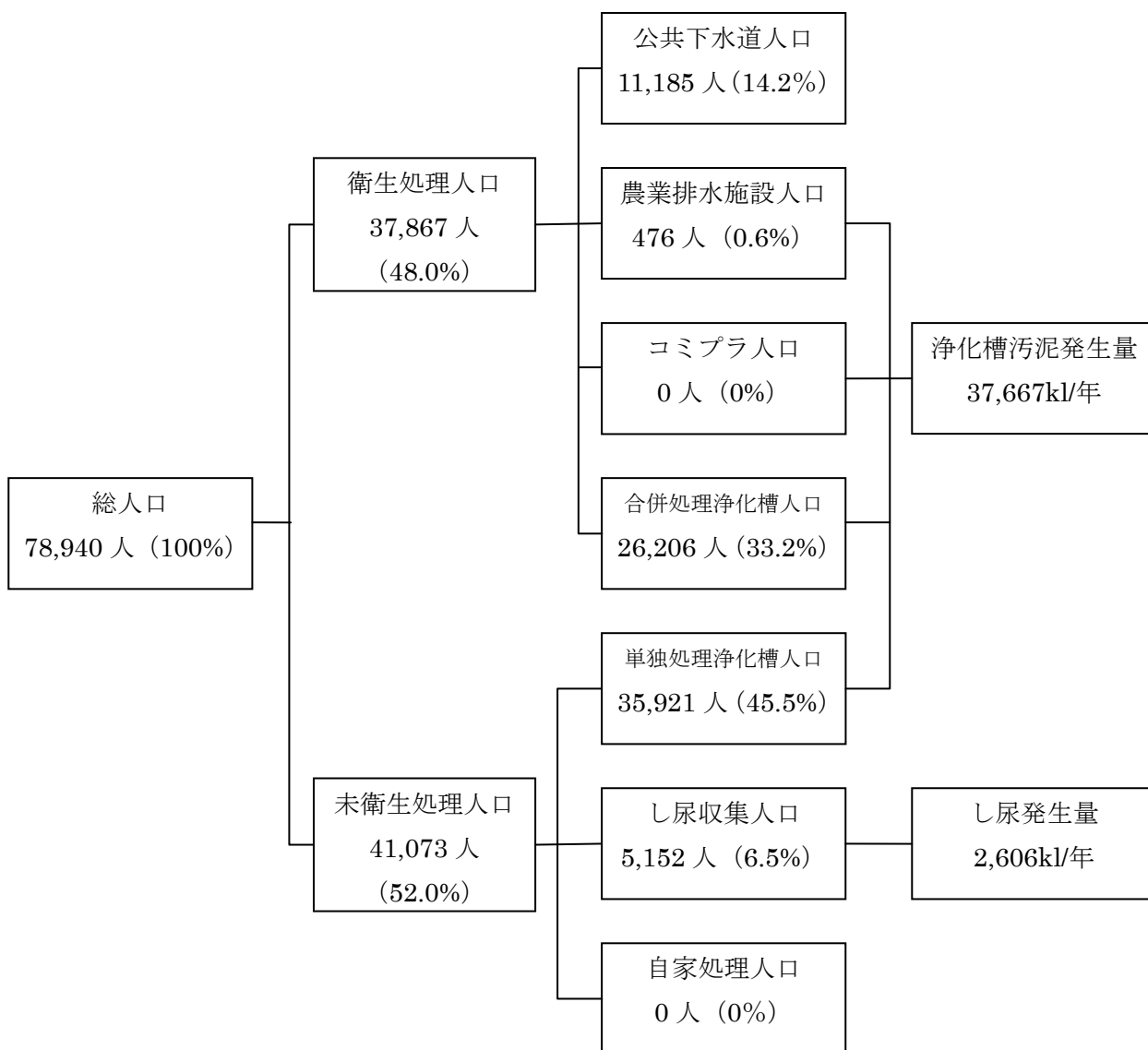
図表7 牧之原市の一般廃棄物の処理フロー (平成24年度)

(2) 生活排水の処理の現状

1) 地域全体

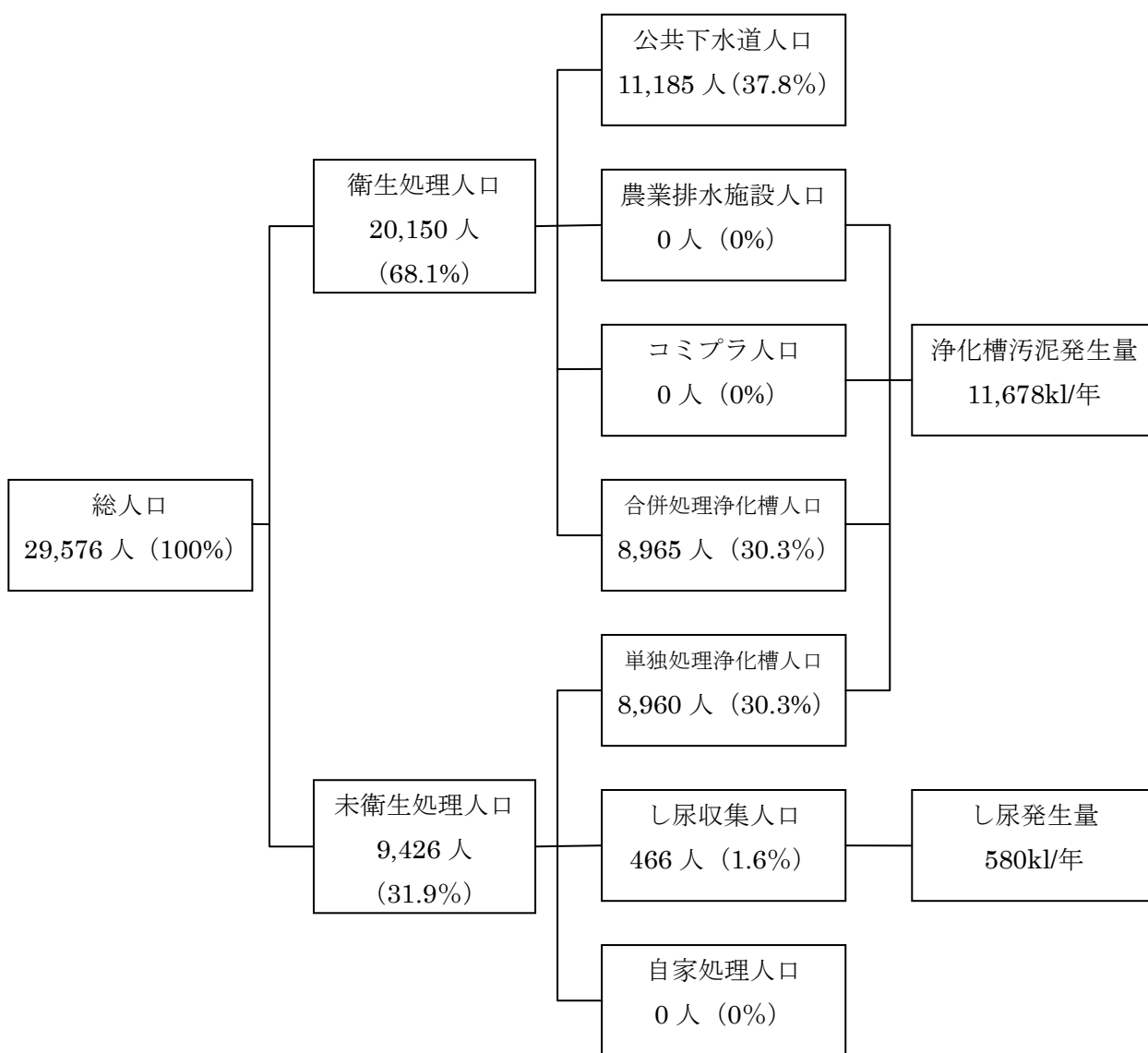
平成 24 年度の生活排水処理状況及びし尿・汚泥量の排出量は以下のとおりである。
生活排水処理対象人口は 78,940 人であり、汚水衛生処理人口は 37,867 人、汚水衛生処理率は 48.0%である。

し尿発生量は 2,606kl/年、浄化槽汚泥発生量は 37,667kl/年であり、処理・処分量は 40,273kl/年である。



図表 8 地域全体の生活排水の処理フロー (平成 24 年度)

2) 吉田町



図表9 吉田町の生活排水の処理フロー (平成24年度)

3) 牧之原市



図表 10 牧之原市の生活排水の処理フロー (平成 24 年度)

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、以下のとおり目標値を定め、それぞれの施策に取り組むものとする。

また、平成 32 年度における目標達成時の一般廃棄物等の処理フローは図表 12 から 14 のとおりである

図表 11 減量化、再生利用に関する現状と目標（地域全体）

指 標		現状 平成 24 年度	目標（H24 年度比） 平成 32 年度
排 出 量	事業系 総排出量	6,883t	6,516t (-5.3%)
	1 事業所当たりの総排出量	1.63t/事業所	1.54t/事業所 (-5.5%)
	家庭系 総排出量	16,113t	14,821t (-8.0%)
	1 人当たりの排出量	204kg/人	195kg/人 (-4.4%)
	総排出量	22,996t	21,337t (-7.2%)
再生利用量	直接資源化量	0t	0t
	総資源化量	6,868t (29.9%)	6,726t (31.5%)
熱回収量	熱回収量	0MWh	0MWh
減量化量	中間処理による減量化量	17,572t (76.4%)	15,844t (74.3%)
最終処分量	埋立処分量	92t (0.4%)	90t (0.4%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 1人当たりの排出量 = (家庭系ごみの総排出量 + 事業系ごみの総排出量) / 人口

《指標の定義》

排出量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量（集団回収されたごみを除く。）〔単位：トン〕

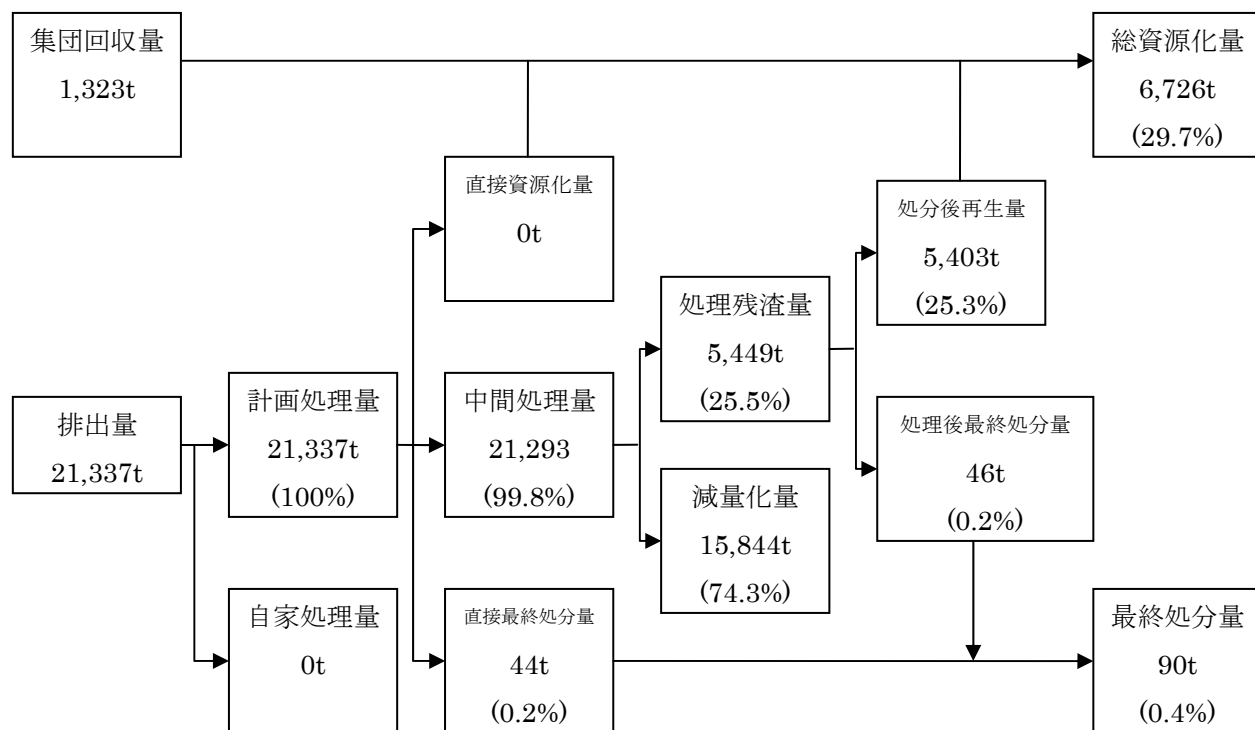
再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和〔単位：トン〕

熱回収量：熱回収施設において発電された年間の発電電力量〔単位：MWh〕

減量化量：中間処理量と処理後の残さ量の差〔単位：トン〕

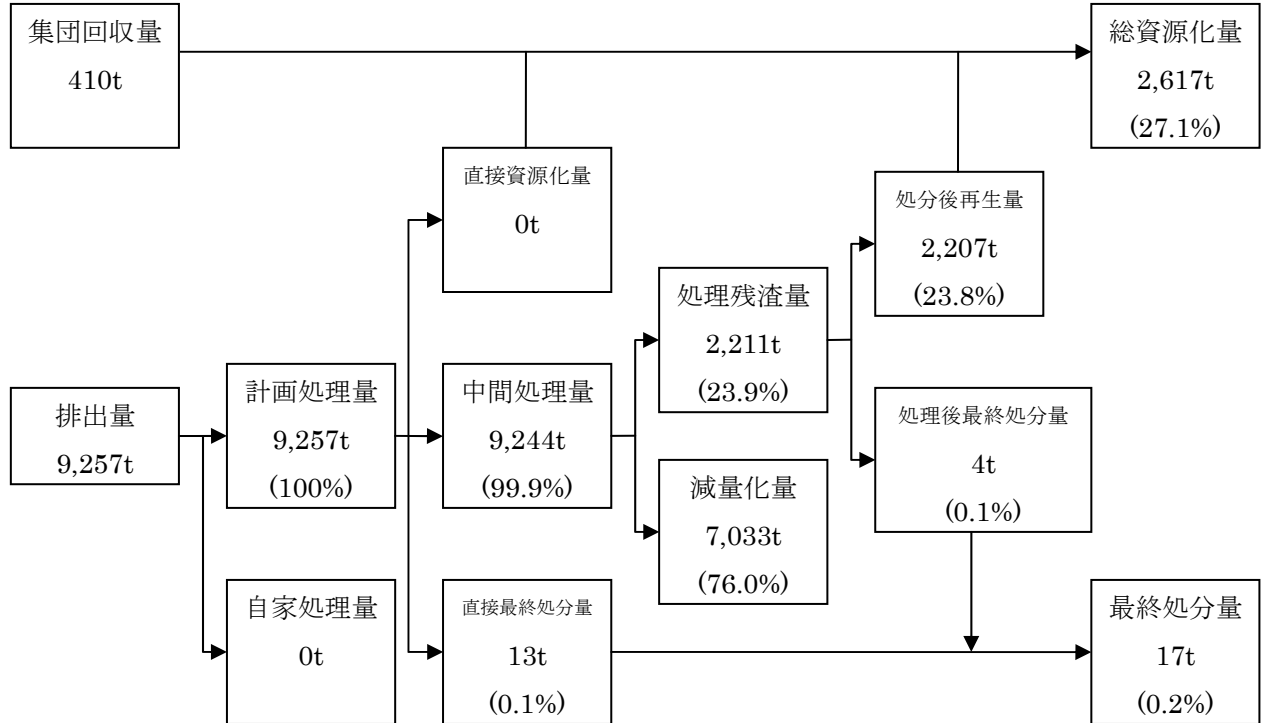
最終処分量：埋立処分された量〔単位：トン〕

1) 地域全体



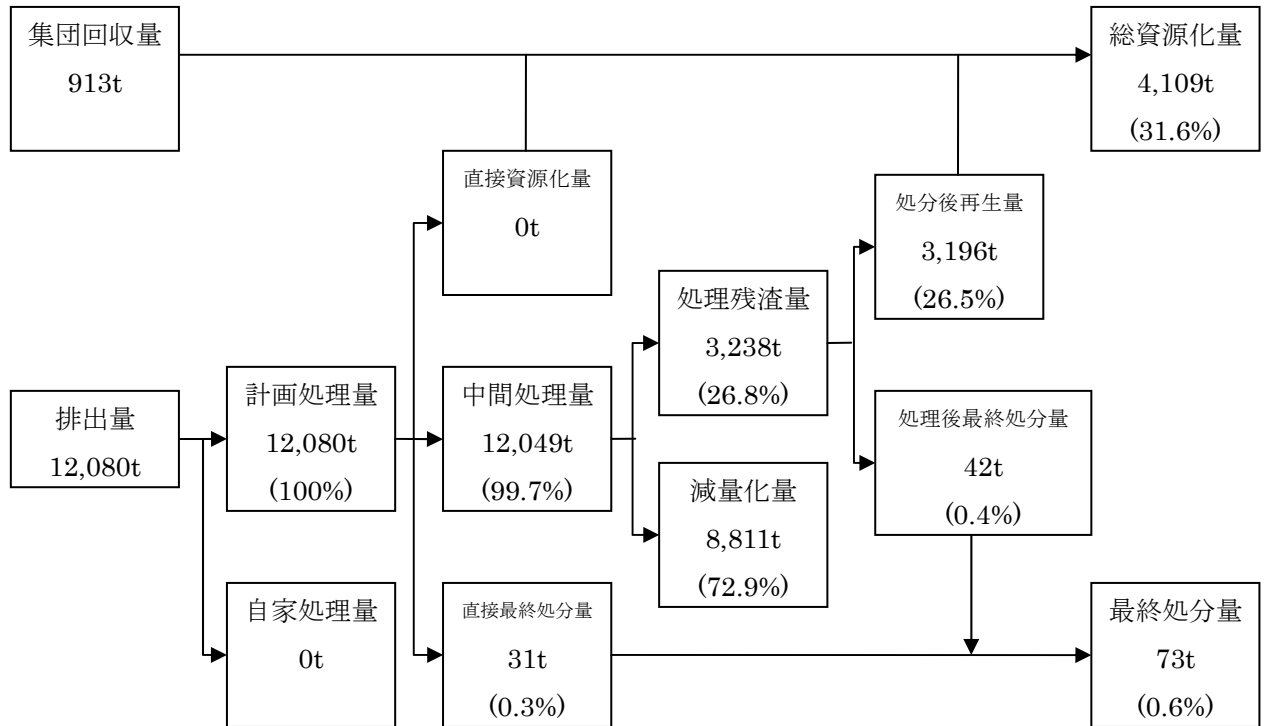
図表 12 目標達成時の一般廃棄物の処理フロー（地域全体）

2) 吉田町



図表 13 目標達成時の一般廃棄物の処理フロー（吉田町）

3) 牧之原市



図表 14 目標達成時の一般廃棄物の処理フロー (牧之原市)

(4) 生活排水処理の目標

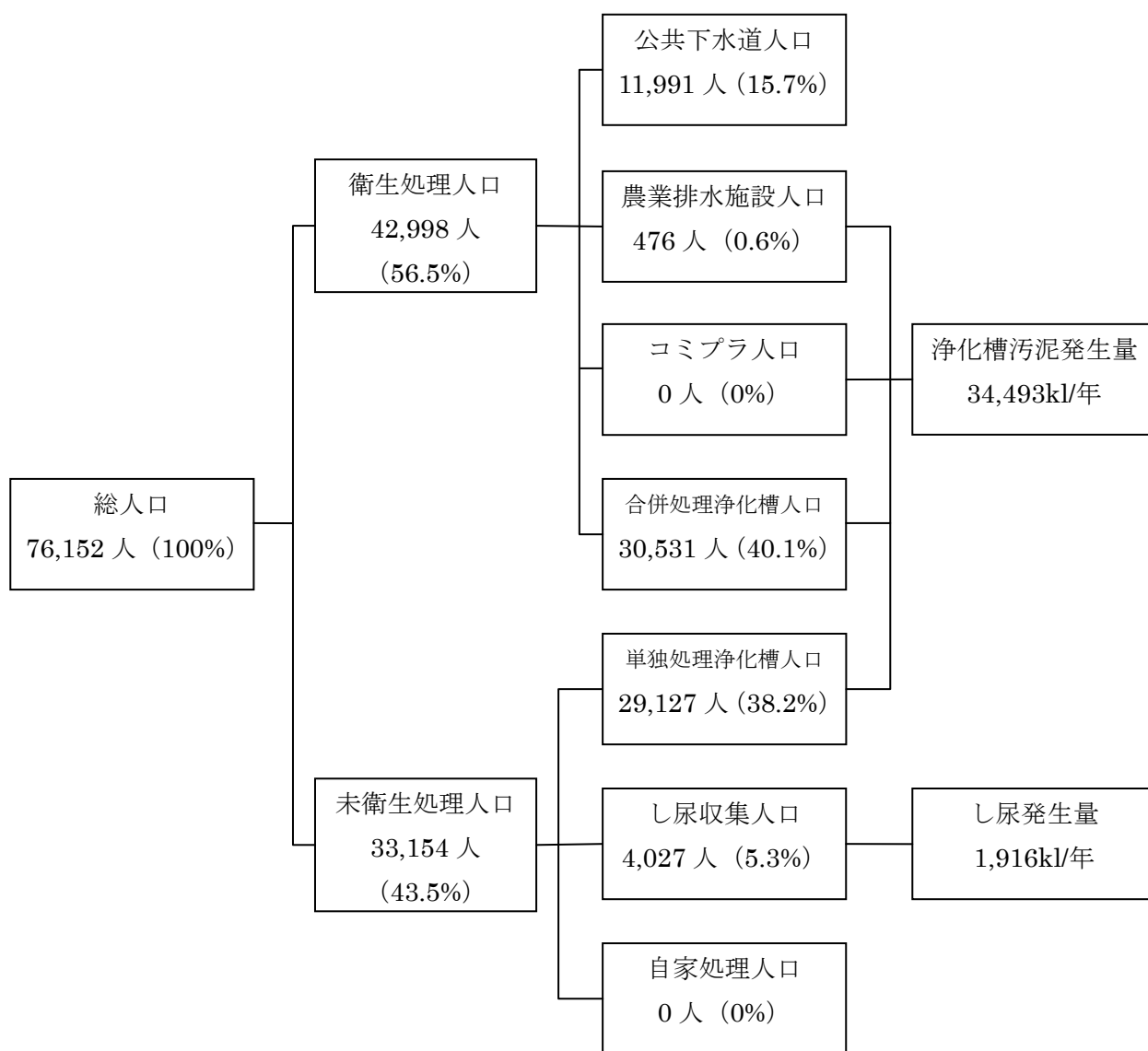
生活排水処理の目標は、以下に掲げるとおり、汚水衛生処理率の向上を目指し、下水道、合併浄化槽等の効果的な整備等を進めていくものとする。

図表 15 生活排水処理に関する現状と目標

単位：（人口は人、し尿量・汚泥量は k1/年）

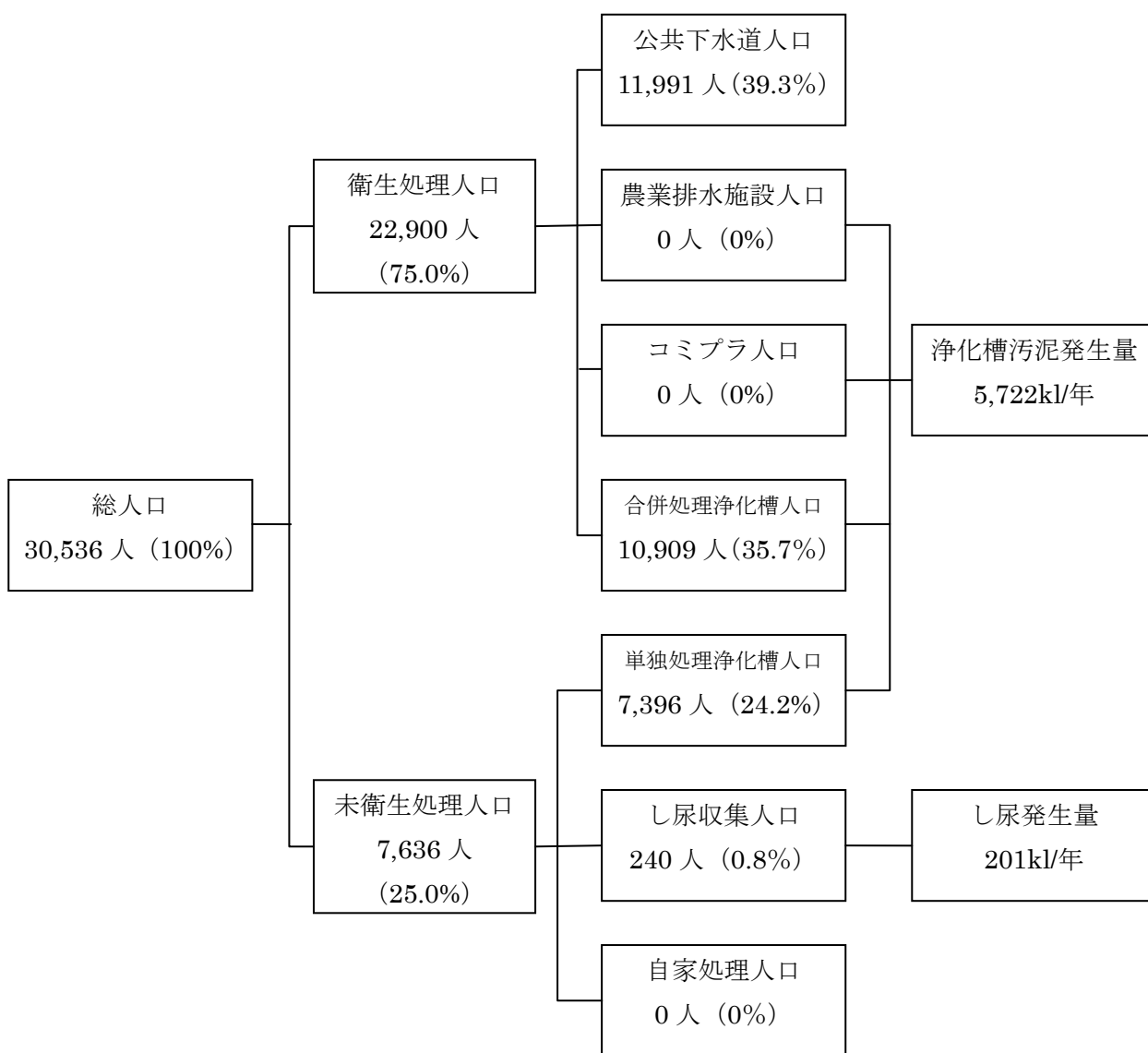
		平成 24 年度実績		平成 32 年度目標	
処理形態別人口合計		78,940		76,152	
非水洗化人口	計画収集人口	5,152	(6.5%)	4,027	(5.3%)
	自家処理人口	0	(0%)	0	(0%)
	水洗化人口・生活雑排水処理人口	37,867	(48.0%)	42,998	(56.5%)
水洗化人口・生活雑排水処理人口	公共下水道人口	11,185	(14.2%)	11,991	(15.7%)
	コミュニティ・プラント人口	0	(0%)	0	(0%)
	農業集落排水処理施設人口	476	(0.6%)	476	(0.6%)
	合併処理浄化槽	26,206	(33.2%)	30,531	(40.1%)
水洗化・生活雑排水未処理人口 (単独処理浄化槽)		35,921	(45.5%)	29,127	(38.2%)
し尿・汚泥量の合計		40,273		36,409	
し尿収集量		2,606		1,916	
浄化槽汚泥収集量		37,667		34,493	

1) 地域全体



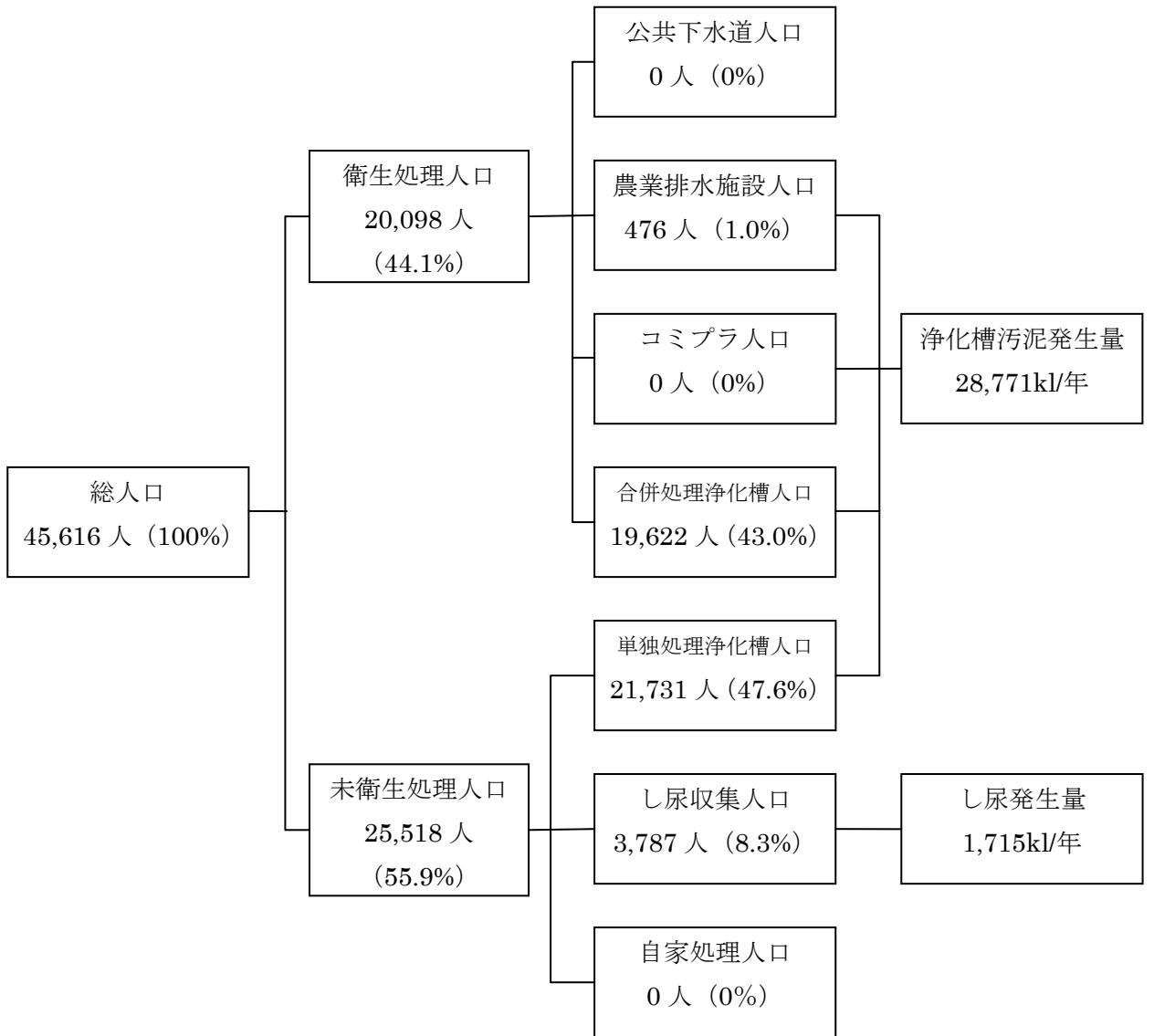
図表 16 目標達成時の生活排水処理の処理状況フロー（地域全体）

2) 吉田町



図表 17 目標達成時の生活排水処理の処理状況フロー (吉田町)

3) 牧之原市



図表 18 目標達成時の生活排水処理の処理状況フロー (牧之原市)

3 施策の内容

(1) 排出抑制、資源化の推進

1) 排出抑制の方針

廃棄物の排出抑制には、住民、事業者、行政の各主体がそれぞれ、役割を分担し、自主的、自発的に行っていくことが重要である。廃棄物の排出抑制を、行政、住民、事業者ごとに区分して提案すると以下に示すとおりである。

行政：環境教育の充実(学校教育、社会教育)、広報・啓発活動の充実、事業者に対する減量化、資源化指導、ごみ有料化の検討、等

住民：過剰包装品の購入の自粛、マイバック等の持参

事業者：販売包装の有料化、過剰包装の自粛、使い捨て容器・流通包装廃棄物の排出抑制

2) 分別収集の体制

プラスチック類マークなしの破砕を実施することで、これまで処理料金を払っていた処理方法から、有価で販売する方法への切り替えを検討する。

3) 集団回収活動への支援

住民の自主的な資源物の回収活動を促進していくため、学校やPTAなどの集団回収の奨励を行う。また必要に応じ、団体活動への奨励金の交付など支援策について検討を行っていく。

4) 生ごみの資源化の推進

家庭用生ごみ処理機の設置にあたっての補助金制度は吉田町で実施している。発生源での生ごみの排出抑制は、可燃物の減量に大きく寄与することから、今後もこれを奨励し、拡大させていく。

5) 多量の一般廃棄物排出事業者に対する減量化指導の徹底

可燃物は清掃センターへの直接搬入量が多く、全可燃物量に対する直接搬入量の割合は約43%（平成24年度実績）を占める。焼却量を削減するためにも、これら事業系一般廃棄物の削減は急務である。

そこで、多量排出事業者への減量指導や、減量化計画の策定指導、事業者自身での処理や資源化への取組の促進などを進めていく。

6) 再生品の使用促進

日常生活の中で、また行政や事業者の活動の中で、できるだけ再生品を使用するとともに、可能なかぎりものを無駄にしないように努める必要がある。

庁用品や公共関与事業において、積極的に再生品を使用していく。

7) ごみ有料化について

ごみの有料化については平成 11 年度より可燃物について体裁・材質を変更した指定袋を導入している。また、直接搬入ごみについては平成 20 年度より 10kg まで毎に 50 円（事業所の場合は 10kg まで毎に 150 円）の処理費用を徴収している（消費税率の改正に対応するため、平成 26 年度より、10kg まで毎に 51 円（事業所の場合は同 154 円）に変更となる）。

今後も現在の体制を継続する予定である。

8) 情報の共有化について

廃棄物行政に関する情報、暮らしの中で実行できるごみ減量やリサイクルの工夫などについての情報を、ごみカレンダー、広報誌、ホームページ等を活用し、積極的な提供を行う。

9) 環境教育について

組合及び両市町では、ごみの分別やリサイクルに関する出前講座、施設見学、ごみ分別の説明会を地域住民や学校、PTA などに対して行っている。今後も環境教育を継続し、ごみの削減と 3R の普及・推進に努める。

(2) 処理体制

1) 家庭ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法については、図表 19 及び 20 のとおりである。

吉田町及び牧之原市榛原地区の可燃物については、清掃センター「さんあーる」において焼却処理後、発生した焼却灰を全量処分委託している。

金物類、ガラス類、小型家電、古紙類については、リサイクルセンターで専用車両で積込され、資源回収業者へ処分委託しリサイクルされている。ペットボトル・白色トレイは、リサイクルセンターにて選別され容器包装リサイクルルートでリサイクルされている。容器包装プラスチックは委託にて選別・減容処理され、容器包装リサイクルルートでリサイクルされている。容器包装以外のプラスチックは、委託にてサーマルリサイクルされている。小型家電は資源回収業者に有価にて処分委託している。蛍光管・乾電池は資源回収業者に委託しリサイクルしている。

今後は、ペットボトル、容器包装プラスチックはそれぞれ圧縮・梱包し、容器包装以外のプラスチックは破碎処理を計画する。

これに伴い、容器包装プラスチックの圧縮・梱包をリサイクル施設で実施することにより、収集、持込の双方が可能となり、容器包装プラスチックの回収率の増加が見込まれる。

また容器包装以外のプラスチックの破碎をすることにより、中間処理後の処理先の選択

肢が増え、将来的には有価物となる可能性も出てくる。

2) 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

事業系一般廃棄物は、直接搬入により、組合において処理している。一般廃棄物処理施設において産業廃棄物の処理は行っていない。今後も事業者への分別指導強化に努め、現在の処理体制を維持していく。

3) 一般廃棄物と併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

牧之原市御前崎市広域施設組合では、産業廃棄物としての廃瓦の受入を行っており、今後も継続して処理を行う予定である。

4) 生活排水処理の現状と今後

生活排水処理については、引き続き公共下水道の整備、下水道整備予定地域外については合併処理浄化槽の普及を進めていく。また、し尿及び浄化槽汚泥については、吉田町牧之原市広域施設組合衛生センターで、公共下水道は吉田浄化センターにて処理が行われており、今後も現在の処理方法を引き続き行う予定である。

5) 今後の処理体制の要点

- ◇ 容器包装プラスチックの圧縮梱包施設を導入し、容器包装以外のプラスチックとして処理されている容器包装プラスチックの減少を図る。
- ◇ 容器包装以外のプラスチックの破砕設備を導入し、処理環境を向上させ、収集回数を増やす。
- ◇ スtockヤードの再整備により利便性を向上させる。

図表 19 吉田町及び牧之原市のごみの分別方法と処理方法の現状と今後

吉田町				現状(平成24年度)				牧之原市(相良地区)			
区分	処理方法	処理施設名	処理実績	区分	処理方法	処理施設名	処理実績	区分	処理方法	処理施設名	処理実績
可燃ごみ	焼却	吉田町牧之原市広域施設組合清掃センター焼却施設	8,170	可燃ごみ	焼却	吉田町牧之原市広域施設組合清掃センター焼却施設	6,023	可燃ごみ	焼却	牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センター焼却施設	5,510
古布類	集団回収		4	古布類	集団回収		10	金属類	集団回収		0
金物類	再資源化	委託 吉田町牧之原市広域施設組合リサイクルセンター	202	金物類	再資源化	委託 吉田町牧之原市広域施設組合リサイクルセンター	4	古紙類	再資源化	委託 牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センターリサイクルセンター	665
古紙類			477	古紙類			451	古布類			8
ガラス類			288	金物類			177	金物			160
蛍光管乾電池			14	ガラス類			239	ガラス			190
粗大ごみ			59	蛍光管乾電池			12	陶磁器			40
プラスチック類 マークなし			168	粗大ごみ			55	蛍光管乾電池			10
プラスチック類 マークあり			319	プラスチック類 マークなし			129	草木類			435
ペットボトル			48	プラスチック類 マークあり			286	小型家電			24
白色トレイ			6	ペットボトル			42	ビニプラ (マークあり)			240
								白色トレイ			4

吉田町				今後(平成32年度)				牧之原市(相良地区)					
区分	処理方法	処理施設名	処理実績	区分	処理方法	処理施設名	処理実績	区分	処理方法	処理施設名	処理実績		
可燃ごみ	焼却	吉田町牧之原市広域施設組合清掃センター焼却施設	7,912	可燃ごみ	焼却	吉田町牧之原市広域施設組合清掃センター焼却施設	5,255	可燃ごみ	焼却	牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センター焼却施設	4,791		
古布類	集団回収		4	古布類	集団回収		4	金属類	集団回収		11		
金物類	再資源化	委託 吉田町牧之原市広域施設組合リサイクルセンター	202	金物類	再資源化	委託 吉田町牧之原市広域施設組合リサイクルセンター	9	古紙類	再資源化	委託 牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センターリサイクルセンター	520		
古紙類			430	古紙類			406	古布類			16		
ガラス類			324	金物類			162	金物			156		
蛍光管乾電池			17	ガラス類			216	ガラス			144		
小型家電			32	蛍光管乾電池			9	陶磁器			39		
プラスチック類 マークなし			192	小型家電			30	蛍光管乾電池			9		
プラスチック類 マークあり			487	プラスチック類 マークなし			124	草木類			456		
ペットボトル			45	プラスチック類 マークあり			296	小型家電			10		
								ペットボトル			38	ビニプラ (マークあり)	209
												PETボトル	34

図表 20 吉田町及び牧之原市のごみの分別種類（平成 25 年度）

吉田町			牧之原市(榛原地区)			牧之原市(相良地区)		
分別区分	具体例		分別区分	具体例		分別区分	具体例	
可燃ごみ	生ごみ、紙くずなど		可燃ごみ	生ごみ、紙くずなど		可燃ごみ	生ごみ、紙くずなど	
資源物	古布類	古布類	資源物	金物類	アルミ缶	資源物	金属類	アルミ缶
	金物類	空き缶、スプレー缶、鍋・やかんなど		古布類	古布類		古紙	新聞、雑誌、ダンボールなど
	古紙類	新聞、雑誌、ダンボールなど		古紙類	新聞、雑誌、ダンボールなど		古布類	古布類
	ガラス類	ガラス・空きビン、陶磁器など		金物類	空き缶、スプレー缶、鍋・やかんなど		金物	空き缶、スプレー缶、鍋・やかんなど
	小型家電	小型家電類		ガラス類	ガラス・空きビン、陶磁器など		ガラス	ガラス・空きビンなど
	プラスチック類 マークなし	プラマークなしのビニール・プラスチック		小型家電	小型家電類		陶磁器	せともの
	プラスチック類 マークあり	プラマークありのビニール・プラスチック		プラスチック類 マークなし	プラマークなしのビニール・プラスチック		草木類	草木、剪定枝など
	ペットボトル	ペットボトル（PET1マークのみ）		プラスチック類 マークあり	プラマークありのビニール・プラスチック		小型家電	小型家電
	白色トレイ	白色トレイ		ペットボトル	ペットボトル（PET1マークのみ）		プラスチック類 マークあり	プラマークありのビニール・プラスチック（白色トレイ）
	蛍光管 乾電池	蛍光管 乾電池		白色トレイ	白色トレイ		ペットボトル	ペットボトル（PET1マークのみ）
粗大ごみ	ふとん、ベッド、タンス、自転車など		蛍光管 乾電池	蛍光管 乾電池	蛍光管 乾電池	蛍光管 乾電池		
			粗大ごみ	ふとん、ベッド、タンス、自転車など				

(3) 処理施設等の整備

1) 廃棄物処理施設

上記(2)の処理体制で処理を行うため、以下のとおり、必要な施設整備を行う。

図表 21 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	マテリアルリサイクル推進施設	リサイクルセンター再整備事業	15t/日未満 (3施設) 6,572 m ²	牧之原市坂部 1615 番地 3	H27～H28

※ 添付資料として現有施設の概要を添付する。(添付資料 3)

(整備理由)

事業番号 1 : 資源物の再生利用を促進する

2) 合併処理浄化槽の整備

合併浄化槽の整備については、以下のとおり行う。

図表 22 合併処理浄化槽への移行計画

事業番号	事業	直近の整備済 基数(基) (平成 24 年度)	整備計画 基数 (基)	整備計画 人口 (人)	事業期間
2	浄化槽設置整備事業				
	吉田町	70	400	1,200	H27～H31
	牧之原市	172	950	2,850	H27～H31
	合計	242	1,350	4,050	

(4) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

1) 不法投棄対策

構成市町が主体となり、地域の市民団体・関係団体と連携し、分別区分の徹底を進めるとともに、パトロールの強化や清掃活動をとおして不法投棄の防止を図る。

2) 震災等災害発生時の相互応援・支援体制の確保

地域内の災害時処理体制について協議・検討を進めるとともに、静岡県内の地域防災計画に基づき、周辺自治体・関係機関と連携して広域的処理を行う。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

本組合及び構成市町では、毎年、計画の推進状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、県及び国と意見交換をしつつ、計画の推進状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

様式1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1(平成25年度)

1 地域の概要

(1)地域名	吉田町、牧之原市	(2)地域内人口	78,940 人	(3)地域面積	132.52 km ²
(4)構成市町村等名	吉田町、牧之原市	(5)地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村: 吉田町、牧之原市		設立年月日: 昭和36年12月 設立		

※交付要領で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目すべてに○を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状(排出量に対する割合)					目標※1	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成32年度	
排出量	事業系 総排出量(トン)	13,224	9,587	9,550	6,883	集計中	6,516	(-5.3%)
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所)※	3.1	2.3	2.3	1.6		1.5	
	家庭系 総排出量(トン)	14,456	13,930	14,181	16,113	集計中	14,821	(-8.0%)
	1人当たりの排出量(kg/人)※3	183	177	181	204		195	
	合計 事業系家庭系排出量合計(トン)	27,680	23,517	23,731	22,996		21,337	(-7.2%)
再生利用量	直接資源化量(トン)							
	総資源化量(トン)	6,356 (23.0%)	5,614 (23.9%)	5,389 (22.7%)	6,868 (29.9%)		6,726	(31.5%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量 MWh)							
中間処理による減量化量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	19,710 (71.2%)	18,714 (79.6%)	19,474 (82.1%)	17,572 (76.4%)		15,835	(74.2%)
最終処分量	埋立最終処分量(トン)	3,906 (14.1%)	1,230 (5.2%)	548 (2.3%)	92 (0.4%)		90	(0.4%)

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。(添付資料1)

注) (1事業所当たりの排出量) = (事業系ごみの総排出量) / (事業所数)

(1人当たりの排出量) = (家庭系ごみの総排出量) / (人口)

※1 ・排出量は現状に対する割合

・総資源化量は排出量と集回回収量の和に対する割合

・その他は排出量に対する割合

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月日	更新、廃止予定年月	更新、廃止、新設理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月日	処理能力(単位)	
ごみ焼却施設	吉田町牧之原市広域施設組合	機械化バッチ燃焼式	有	20t/8h	S45.4.1	H11.3.31	廃止(老朽化)	-	-	-	
ごみ焼却施設		機械化バッチ燃焼式	有	30t/8h	S51.10.1	H11.3.31	廃止(老朽化)	-	-	-	
ごみ焼却施設		連続燃焼式流動床炉	有	100.5t/日	H11.3.20	-	-	-	-	-	
マテリアルリサイクル推進施設		圧縮・梱包	無	1.5t/5h	H12.4.1	-	(移設)	-	-	-	ペットボトル
マテリアルリサイクル推進施設		-	-	-	-	-	新設	圧縮・梱包	H28.6	5t/日未満	プラスチック類マークあり
マテリアルリサイクル推進施設		-	-	-	-	-	新設	破碎	H28.6	5t/日未満	プラスチック類マークなし
最終処分場		管理型	有	26,415m ³	H11.3.20	-	-	-	-	-	
し尿処理施設		膜分離高負荷処理+高度処理設備	有	82kl/日	H7.11.1	-	-	-	-	-	

※ 添付資料として計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したものを添付する。（添付資料2）

4 生活排水処理の現状と目標(地域全体)

指標・単位	年度	過去の状況・現状(排出量に対する割合)					目標 平成 32 年度
		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	
総人口		79,185	78,811	78,368	78,940	集計中	76,152
公共下水道人口	汚水衛生処理人口	10,375	10,746	10,951	11,185		11,991
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	13.1%	13.6%	14.0%	14.2%		15.7%
農業集落排水処理人口	汚水衛生処理人口	476	476	476	476		476
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%		0.6%
コミュニティプラント人口	汚水衛生処理人口	0	0	0	0		0
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
合併処理浄化槽人口	汚水衛生処理人口	22,422	23,181	23,565	26,206		30,531
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	28.3%	29.4%	30.1%	33.2%		40.1%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	45,912	44,408	43,376	41,073		33,154
単独処理浄化槽人口	汚水衛生未処理人口	39,336	38,269	37,403	35,921		29,127
非水洗化人口	汚水衛生未処理人口	6,576	6,139	5,973	5,152		4,027

※ 添付資料として生活排水に関するトレンドグラフを添付する。(添付資料 1)

5 合併処理浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	吉田町	1,006	4,351	H13	400	1,200	H32	
浄化槽設置整備事業	牧之原市	3,444	13,776	H1	950	2,850	H32	

※ 添付資料として計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付する。(添付資料 3)

循環型社会形成推進交付金事業実施計画 総括表2(平成27年度)

事業種別	事業番号	事業主体名称	規模		事業期間 交付期間		総事業費(千円)					交付金対象事業費(千円)					備考		
			単位		開始	終了	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度			
○再生利用に関する事業	1	吉田町 牧之原 市広域 施設組 合																	
リサイクルセンター再整備事業							730,000	650,000	80,000	0	0	0	730,000	650,000	80,000	0	0	0	
旧焼却炉解体工事①			20	t/8h	H27	H27	450,000	450,000	0	0	0	0	450,000	450,000	0	0	0	0	
旧焼却炉解体工事②			30	t/8h	H27	H27													
マテリアルリサイクル推進施設整備 ストックヤード整備			15 6,572	t/日 ㎡	H27 H27	H28 H28	280,000	200,000	80,000	0	0	0	280,000	200,000	80,000	0	0	0	0
○浄化槽に関する事業	2	吉田町 牧之 原市					338,505	67,701	67,701	67,701	67,701	67,701	338,505	67,701	67,701	67,701	67,701	67,701	
浄化槽設置整備事業			400	基	H27	H31	111,150	22,230	22,230	22,230	22,230	22,230	111,150	22,230	22,230	22,230	22,230	22,230	
			950	基	H27	H31	227,355	45,471	45,471	45,471	45,471	45,471	227,355	45,471	45,471	45,471	45,471	45,471	
合計						1,068,505	717,701	147,701	67,701	67,701	67,701	1,068,505	717,701	147,701	67,701	67,701	67,701		

(参考) 生活排水計画による実施計画

事業種別	事業番号	事業主体名称	規模		事業期間 交付期間		総事業費(千円)					交付金対象事業費(千円)					備考	
			単位		開始	終了	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度		
○浄化槽に関する事業	2	吉田町 牧之 原市					612,110	122,422	122,422	122,422	122,422	122,422	612,110	122,422	122,422	122,422	122,422	122,422
浄化槽設置整備事業			450	基	H23	H27	176,250	35,250	35,250	35,250	35,250	35,250	176,250	35,250	35,250	35,250	35,250	35,250
浄化槽設置整備事業			1,095	基	H23	H27	435,860	87,172	87,172	87,172	87,172	87,172	435,860	87,172	87,172	87,172	87,172	87,172

※ 地域計画が承認された場合には平成26年度をもって生活排水計画は地域計画へ移行する

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の内容	実施主体	事業期間 交付期間		交付金必要の要否	事業計画					備考
					開始	終了		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	情報の共有化と啓発活動の推進	広報活動、環境教育	吉田町、 牧之原市、 吉田町・牧之 原市広域施 設組合	27	31							
	12	ごみの発生抑制と減量化の推進	生ごみの水切り、レジ袋削減		27	31							
	13	再使用と再生利用の推進	地域住民への集団回収等への支援、民間リサイクルとの連携		27	31							
処理体制の構築、変更に関するもの	21	資源化の推進	資源物の収集回収の見直し、品目の追加、資源の効率的処理の推進、焼却残さの再生利用の推進等		27	31							
処理施設の整備に関するもの	1	マテリアルリサイクル推進施設整備事業	マテリアルリサイクル推進施設として、ストックヤードの整備及びプラスチックの圧縮・梱包施設、破砕施設等を整備する	吉田町・牧之原市広域施設組合	27	28	要	解体・建設工事					
	2	合併浄化槽整備	合併浄化槽整備を促進する		27	31	要						
その他	41	不法投棄対策	不法投棄対策の強化	吉田町、 牧之原市	27	31							
	42	災害廃棄物対策	災害廃棄物の処理体制の確保		27	31							

【参考資料様式 1】

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	吉田町牧之原市広域施設組合
(2) 施設名称	マテリアルリサイクル推進施設
(3) 工期	平成 27 年度 ～ 平成 28 年度
(4) 施設規模	処理能力 15 t/日 (5t 未満が 3 施設)
(5) 処理方法	破碎・選別・圧縮・梱包
(6) 地域計画内の役割	プラスチック類マークあり、プラスチック類マークなし、ペットボトルを圧縮・梱包
(7) 廃焼却施設解体工事	有 無

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

(8) 生成する原材料及びその利用計画	該当無し
---------------------	------

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

(9) 固形燃料の利用計画	該当無し
---------------	------

「ストックヤード」を整備する場合

(10) スtock対象物	缶類、粗大鉄、容器包装プラスチック、容器包装以外のプラスチック、新聞、雑誌、ダンボール、瓶、ガラス、ペットボトル、乾電池・蛍光灯、小型家電、等
---------------	---

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(11) 容器包装リサイクル推進施設の内訳	破碎施設 圧縮梱包施設
-----------------------	----------------

(12) 事業計画額	730,000千円
------------	-----------

【参考資料様式 5】

施設概要（浄化槽系）

都道府県名：静岡県

(1) 事業主体名	吉田町
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止することを目的とし、合併処理浄化槽を設置しようとするものに対し、予算の範囲内において、補助金を交付する。
(4) 事業期間	平成 27 年度 ～ 平成 31 年度
(5) 事業対象地域の要件	浄化槽設置整備事業実施要綱の第3(1)ア(キ)に該当する地域
(6) 事業計画額	交付対象事業費 111,150 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

	交付対象基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	200基(600人分)	基	66,400千円	66,400千円	66,400千円
6～7人槽	150基(450人分)	基	31,050千円	31,050千円	31,050千円
8～10人槽	50基(150人分)	基	13,700千円	13,700千円	13,700千円
11～20人槽	基(人分)	基			
21～30人槽	基(人分)	基			
31～50人槽	基(人分)	基			
51人槽以上	基(人分)	基			
改築	基	基			
計画策定調査					
合計	400基(1,200人分)	基	111,150千円	111,150千円	111,150千円

【参考】平成24年度の状況(実績)

	交付対象基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	45基(135人分)	基	14,940	14,940	14,940
6～7人槽	22基(66人分)	基	9,108	9,108	9,108
8～10人槽	3基(9人分)	基	1,644	1,644	1,644
11人槽以上	基(人分)	基			
合計	70基(210人分)	基	25,692	25,692	25,692

【参考資料様式 5】

施設概要（浄化槽系）

都道府県名：静岡県

(1) 事業主体名	牧之原市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	公共用水域の水質保全のため浄化槽の整備を推進し、し尿及び生活排水の適正処理を図る。
(4) 事業期間	平成 27 年度 ～ 平成 31 年度
(5) 事業対象地域の要件	浄化槽設置整備事業実施要綱の第3(1)ア(キ)に該当する地域
(6) 事業計画額	交付対象事業費 227,355 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

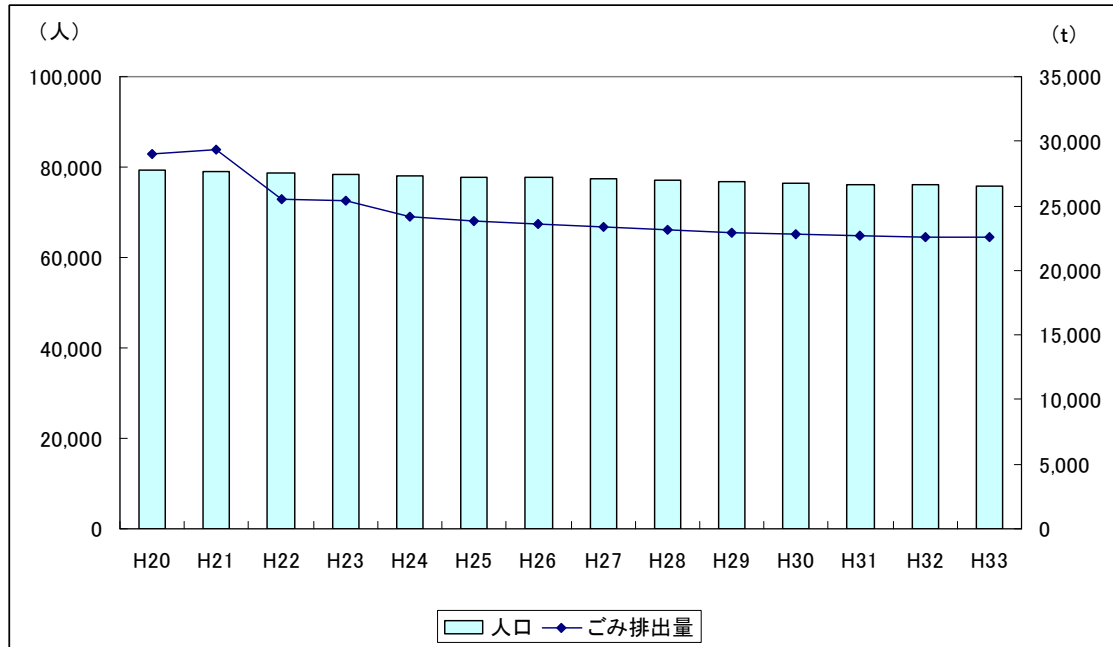
	交付対象基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	405基(1,215人分)	基	80,595千円	80,595千円	80,595千円
6～7人槽	400基(1,200人分)	基	99,200千円	99,200千円	99,200千円
8～10人槽	145基(435人分)	基	47,560千円	47,560千円	47,560千円
11～20人槽	基(人分)	基			
21～30人槽	基(人分)	基			
31～50人槽	基(人分)	基			
51人槽以上	基(人分)	基			
改築	基	基			
計画策定調査					
合計	950基(2,850人分) 改築除く	基	227,355千円	227,355千円	227,355千円

【参考】平成24年度の状況(実績)

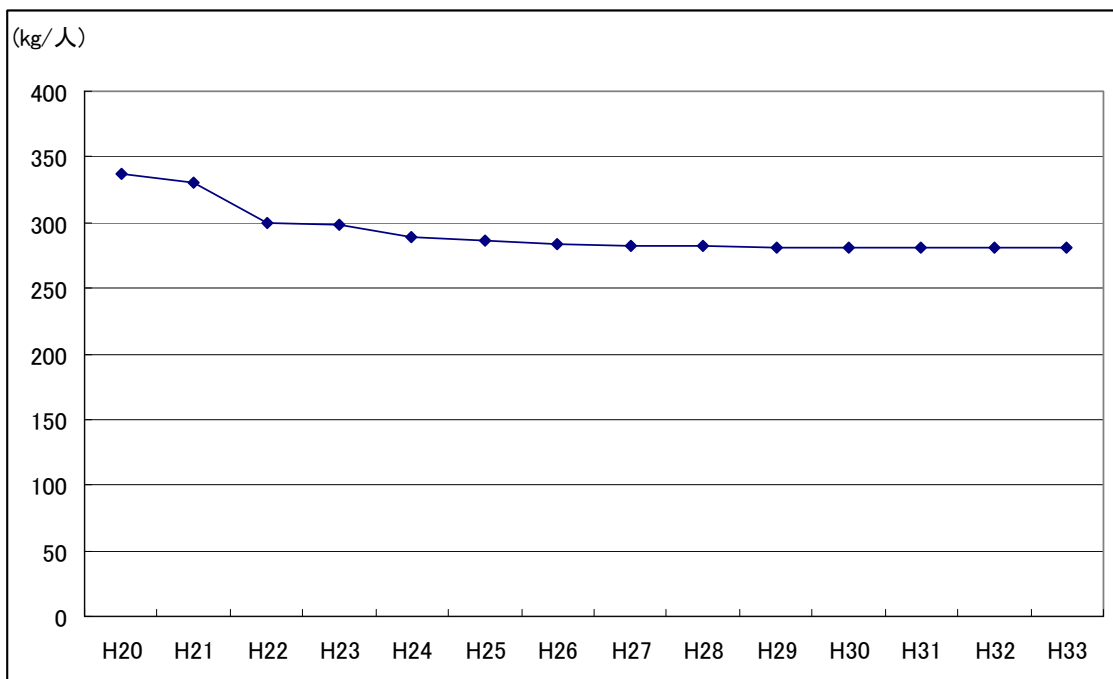
	交付対象基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	80基(240人分)	5基	18,560千円	18,560千円	18,560千円
6～7人槽	79基(237人分)	10基	22,813千円	22,813千円	22,813千円
8～10人槽	13基(39人分)	3基	4,979千円	4,979千円	4,979千円
11人槽以上	基(人分)	基	千円	千円	千円
合計	172基(516人分)	基	46,370千円	46,370千円	46,370千円

【参考資料様式 6】

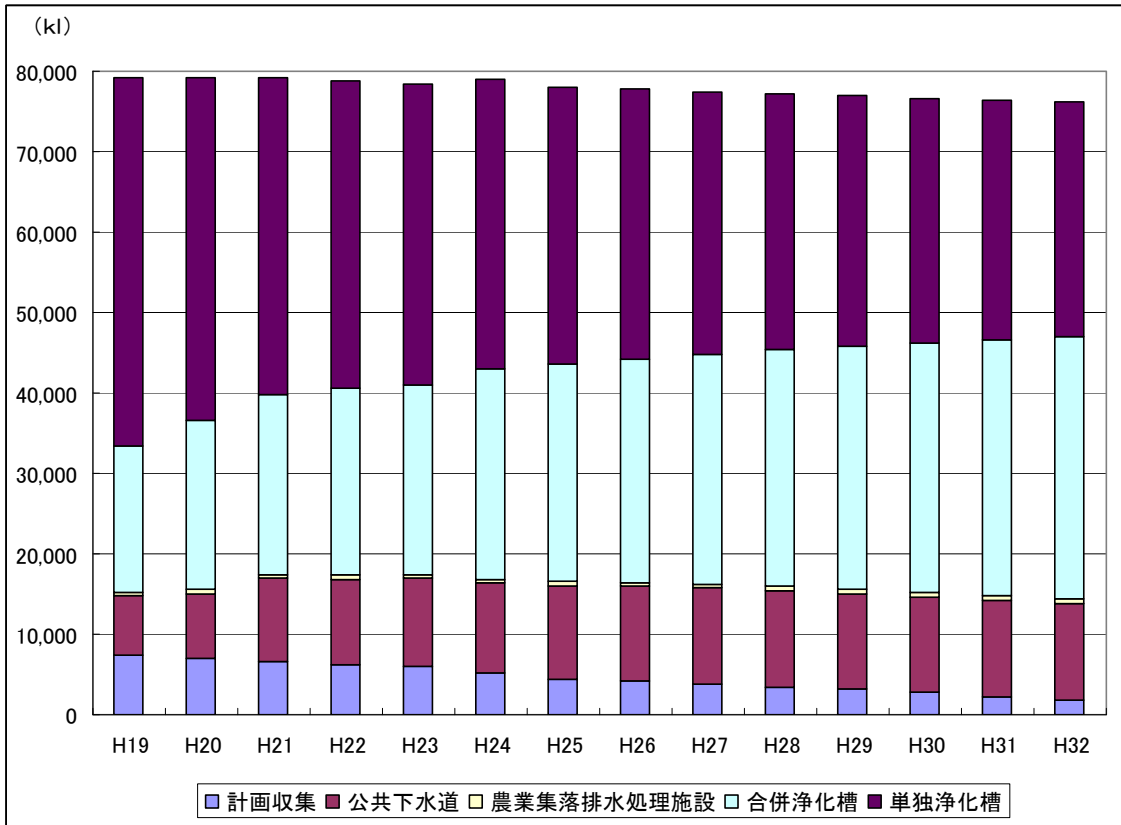
添付資料 1 人口、ごみ量、汚泥量等のトレンドグラフ



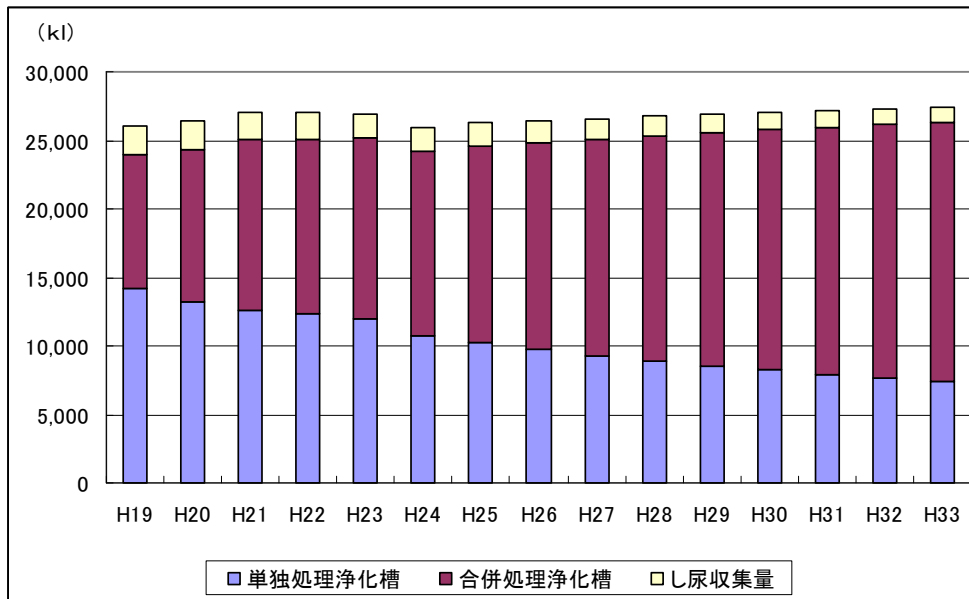
図表 23 人口とごみ量の推移



図表 24 家庭ごみの1人あたり排出量の推移



図表 25 生活排水処理形態別人口の推移



図表 26 し尿及び浄化槽汚泥排出量の推移

添付資料 2 計画地域内の施設の状況

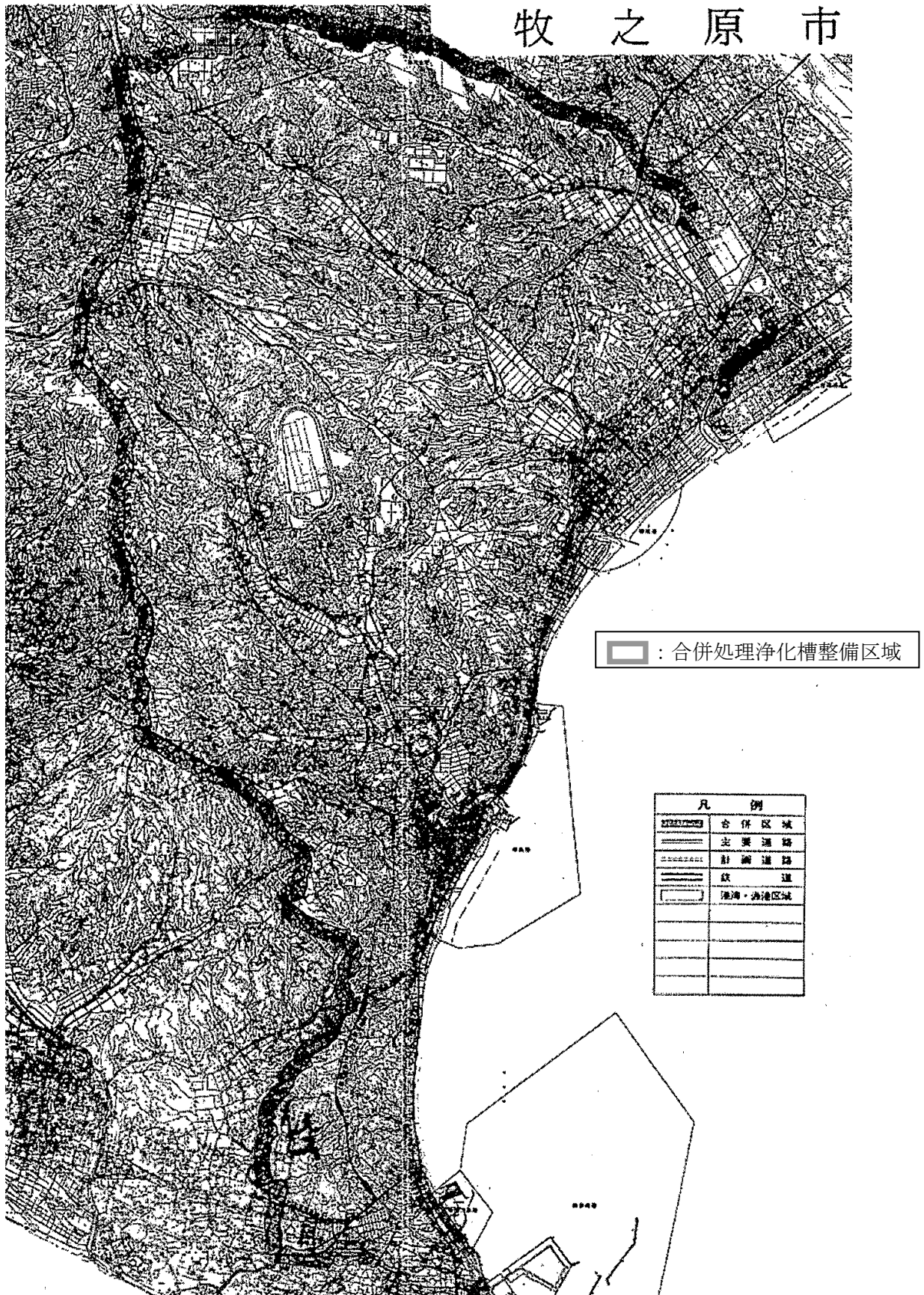


添付資料 3 計画地域内の施設の状況（合併処理浄化槽整備区域）

吉田町



添付資料3 計画地域内の施設の状況（合併処理浄化槽整備区域）
 牧之原市



添付資料 4 計画地域内の施設の状況（施設能力等）

施設一覧

管理主体	施設・設備の種類	名 称
吉田町 牧之原市 広域施設組合	資源化施設	吉田町牧之原市広域施設組合リサイクルセンター
	中間処理施設	吉田町牧之原市広域施設組合清掃センター
	最終処分場（管理型）	吉田町牧之原市広域施設組合最終処分場(管理型)
牧之原市 御前崎市 広域施設組合	資源化施設	牧之原市御前崎市広域施設組合リサイクルセンター
		牧之原市御前崎市広域施設組合粗大ごみ処理施設
	中間処理施設	牧之原市御前崎市広域施設組合焼却施設
	最終処分場（管理型）	牧之原市御前崎市広域施設組合最終処分場(管理型)
	最終処分場（安定型）	牧之原市御前崎市広域施設組合最終処分場 (安定型)
吉田町	最終処分場（安定型）	吉田町一般廃棄物最終処分場（安定型）
牧之原市	最終処分場（安定型）	牧之原市一般廃棄物最終処分場(安定型)

【吉田町牧之原市広域施設組合リサイクルセンター】

所在地	牧之原市坂部1615番地3	
敷地面積	6,572㎡	
受入態勢	不燃物・資源物のストックヤード区分、容器包装プラスチック保管	
受入対象物	金物類（アルミ・缶類）、ガラス類、 不燃性粗大ごみ（モーター・粗大鉄・電気コード）、 古紙類（新聞・雑誌・ダンボール）、 ペットボトル、白色トレイ、 容器包装以外のプラスチック類、 廃家電、蛍光管、乾電池	
処理体制	金物類、ガラス類、 不燃性、粗大ごみ、 古紙類	専用車両にて積込・搬出 ⇒資源回収業者へ処分委託⇒リサイクル
	ペットボトル 白色トレイ	収集・選別減容処理（直営） ⇒資源回収業者へ処分依頼⇒リサイクル(容リ協会)
	容器包装 プラスチック類	収集（委託）⇒選別減容処理（委託） ⇒リサイクル（容リ協会）
	容器包装以外の プラスチック類	収集（委託） ⇒サーマルリサイクル（委託）
	廃家電	直接搬入⇒資源回収業者へ処分依頼 ⇒リサイクル
	蛍光管・乾電池	拠点回収・梱包（直営） ⇒資源回収業者へ処分依頼⇒リサイクル
保管用テント施設	敷地面積2,330㎡ 保管施設面積625㎡	

【吉田町牧之原市広域施設組合清掃センター】

所在地	牧之原市細江 6664 番地 3 (他 13 筆)
敷地面積	5,481 m ² (うち建屋面積 1,490 m ²)
処理方法	連続燃焼式流動床炉
処理能力	100.5t/24h (50.25t/24h×2 基)
竣工	平成 11 年 4 月
受入供給設備	ピットアンドクレーン方式 可燃性粗大ごみ破碎処理装置 (能力 2t/h)
排ガス処理設備	塩化水素除去装置+バグフィルタ+触媒脱硝装置
排水処理設備	クローズドシステム ごみピット汚水、生活プラント排水、最終処分場処理水⇒蒸発酸化処理
残渣処理施設	飛灰安定化処理施設 (混練薬品処理) 不燃物搬出装置 (砂、不燃物、磁選物)
余熱利用施設	空気余熱器⇒温水発生器⇒温水タンク⇒場内給湯に利用
施設の愛称	さんあーる

【吉田町牧之原市広域施設組合最終処分場(管理型)】

所在地	牧之原市細江 6679 番地 (他 24 筆)
面積・容積	総面積 14,090 m ² 埋立面積 8,050 m ² 埋立容積 26,415 m ³
埋立期間	平成 11 年 4 月から平成 29 年 3 月まで (18 年間)
埋立対象物	焼却残渣 (安定化処理済み残渣に限る。)
遮水設備	遮水シート、不織布
浸出水処理設備	浸出水処理量 平均 26 m ³ 最大 74 m ³ 接触酸化処理+凝集沈殿+砂ろ過+活性炭吸着+清掃センター再利用

【牧之原市御前崎市広域施設組合リサイクルセンター】

所在地	牧之原市笠名 1212
建設面積	1025.5 m ²
処理設備	ペットボトル圧縮梱包整備及び搬入物ヤード (300kg/h) ガラス搬入物ヤード 金物類搬入物ヤード 古紙類 (新聞、雑誌) 搬入物ヤード
建設年度	平成 10 年度

【牧之原市御前崎市広域施設組合粗大ごみ処理施設】

所在地	牧之原市笠名 1212
破砕能力	25t/5h
破砕形式	横型回転式、剪断式（焼却処理用「1t/h」）
選別方式	機械選別方式（鉄、アルミ、不燃物、可燃物の4種類）
建設年度	平成2年～平成3年度

【牧之原市御前崎市広域施設組合焼却施設】

所在地	牧之原市笠名 1212
焼却能力	94/16h（47t/16h×2基）（141t/24h ※全連続燃焼90日間）
炉形式	準連続式（ストーカ式）
排ガス処理	集塵機（バグフィルタ）及び有害ガス除去装置
煙突	鉄筋コンクリート造（内筒鋼製2筒）
余熱処理	センター内給湯、暖房及びむつみ荘へ給湯
飛灰処理	薬剤処理方式
建設年度	平成2年～3年度 ダイオキシン類対策工事 平成12年～平成13年度

【牧之原市御前崎市広域施設組合最終処分場（管理型）】

所在地	牧之原市笠名 1192 番地 11 他
埋立面積	4,300 m ²
埋立容積	30,000 m ³
埋立期間	平成10年4月～平成26年3月（予定）（15年間）
遮水方式	短繊維系不織布、合成ゴム系二重シート
水処理量	25 m ³ /日
建設年度	平成8年～平成9年度

【牧之原市御前崎市広域施設組合最終処分場（安定型）】

所在地	御前崎市比木 846 番地 1
面積	面積 6,032 m ²
埋立方式	安定型最終処分場
埋立物	日本瓦・素焼きレンガ・外壁材（アスベストが入っていないもの）
埋立容量	36,744 m ³

【吉田町一般廃棄物最終処分場（安定型）】

所在地	榛原郡吉田町川尻 4034 番地の一部
面積	台帳面積 49,595 m ² / 実測面積 49,595 m ²
埋立方式	安定型最終処分場
埋立物	コンクリート・ブロック・瓦・レンガ・土類
処分場全体面積	33,946 m ²
処分場埋立面積	29,667 m ²
処分場埋立容量	109,569 m ³

【牧之原市一般廃棄物最終処分場（安定型）】

所在地	牧之原市静波 4054 番地 2
面積	面積 3,668 m ²
埋立方式	安定型最終処分場
埋立物	コンクリート・ブロック・瓦・レンガ
埋立容量	14,616 m ³